

きょうげん きょう げんき
狂言で今日を元気にするっぺ!

今こそともに笑わないか、ともに楽しまないか

「勸善懲悪」って何だ。



見る、知る、伝える千葉 創作狂言

里見八犬伝

エピソードゼロ

其ノ零

ニューバージョン
(再演)

令和2年12月5日(土) 14時開演

全席自由 2,100円 学生 1,000円(税込) 千葉県文化会館 大ホール

※13時より座席引換を行います。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

第一部 狂言「盆山」 出演 シテ 盗人 小笠原 由禰
アド 何某 山下 浩一郎

第二部 創作狂言「里見八犬伝 其ノ零」
(ニューバージョン)

作・演出 小笠原 由禰 制作協力 千葉大学
出演 小笠原 由禰 山下 浩一郎 青山 郁彦 TAKAKO
加藤 充華 若菜の会 千葉大生

*新型コロナウイルスの感染予防について、座席配置など会場の感染対策を講じます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。



狂言師 小笠原 由禰

プレイガイド:

インターネット予約 <https://www.cbs.or.jp/>
千葉県文化会館 043-222-0201
千葉県東総文化会館 0479-64-2001

運営: 見る、知る、伝える千葉〜創作狂言〜運営委員会



主催: 千葉県文化会館
(公財)千葉県文化振興財団

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

後援: 千葉県、千葉県教育委員会、
千葉市教育委員会、館山市教育委員会、
南房総市教育委員会
表紙画像データ提供: 館山市立博物館
チラシデザイン 千葉大学法政経学部1年 高橋 稜賀

TOKYO 2020
応援プログラム



第一部	狂言「盆山」	<p>盆山（盆栽）がほしくてたまらない男が、ついに知人の庭に盗みに入ってしまった。ところが、あれやこれやと物色しているうちに、家の主人に気づかれてしまいます。男はとっさに物陰に隠れますが、主人はわざと気づかないふりをして、男をからかうことにしました。さて、男に向かって主人がかけた言葉とは？</p> <p>狂言独特のオノマトペを伴う所作や、今とはちがう動物の鳴き声をお楽しみください。</p>
第二部	創作狂言「里見八犬伝 其ノ零」 ニューバージョン	<p>本作は、江戸時代後期に^{きょくていばきん}曲亭馬琴によって著された長編小説『南総里見八犬伝』を題材とした創作狂言です。</p> <p>室町時代、結城合戦に敗れた里見義実が安房へと落ち延び、そこで悪政を行っていた山下定包とその妻玉梓を討ち果たしました。しかし、義実を恨んだ玉梓は、死の間際に呪いの言葉を残します。</p> <p>十数年後、義実が隣国の安西景連に攻め込まれ、落城の危機に陥りました。追い詰められた義実が、飼い犬の八房に、つい「景連の首を取って来たら、娘の伏姫を嫁にやる」と言ってしまうのですが……。</p> <p>江戸時代に曲亭馬琴によって著された『南総里見八犬伝』が、創作狂言として現代に蘇りました。その幕開けとして2016年度に上演された「其ノ零」を、今年度は“ウイズコロナ時代”ならではの演出で再演します。</p>



おがさわら ただし
小笠原 由禰（小笠原匡改め）

能楽師狂言方 和泉流 公益社団法人能楽協会会員
日本能楽会会員 重要無形文化財総合指定保持者

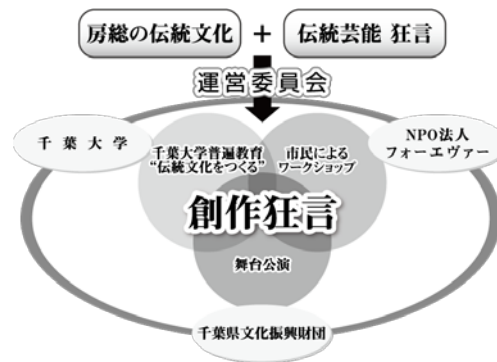
1965年生まれ。初世 野村 萬（人間国宝）、故8世 野村万蔵、9世 野村万蔵に師事。狂言の大曲「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「金岡」「花子」を抜く。2006年より「見る・知る・伝える千葉～創作狂言～」をプロデュース、毎年千葉県の神話・民話・風習を創作狂言に劇作・演出。NHK大河ドラマ「義経」、金曜時代劇「出雲の阿国」芸能指導、朝の連続ドラマ小説「カーネーション」「ごちそうさん」所作指導。2012年より桃山学院大学地域連携共同研究プロジェクト「中近世の日本とイタリアにおける仮面喜劇の生成発展と現代的実践について」にて、毎年ヴェネツィア大学で狂言とイタリア伝統仮面劇「コンメディア・デルラルテ」のシンポジウム、ワークショップ、公演を行う。2016年よりパリ日本文化会館にて年3回「伝統の継承」を企画プロデュース。

現在、萬狂言関西支部代表、千葉大学客員教授。ホームページ <http://atelier-oga.com/>

「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」プロジェクト ～古くて新しい伝統文化への取り組み～

房総に伝えられてきた民話や伝承をもとに、和泉流狂言師小笠原由禰、千葉大学、千葉県文化振興財団、県民などで新たに創り上げてきた狂言の舞台です。千葉大学、NPO法人フォーエヴァー、千葉県文化振興財団で運営委員会をつくり運営を行っています。

これまでに「千葉笑（千葉市）」「羽衣伝承（千葉市）」「鬼来迎（横芝光町）」「ヤマトタケル伝承（千葉県広域）」「八幡の藪知らず（市川市）」を題材に狂言を創作し、上演してきました。



千葉県文化会館へのアクセス

(〒266-8661 千葉市中央区市場町11番2号)

【JR千葉駅より】

■京成バス⑦大学病院ゆき乗車約10分

郷土博物館・千葉県文化会館下車徒歩約2分

■千葉都市モノレール乗車約6分 県庁前駅下車徒歩約7分

【JR内房線・外房線 本千葉駅より】

■徒歩約10分